

特別調査 「原材料・仕入価格の上昇による中小企業への影響について」

問1. 貴社では、最近の原材料・仕入価格の上昇により収益にどのような影響を受けていますか。下記の1~7の中から1つ選んでお答えください。

1. 危機的な悪影響がある 2. かなり悪影響がある 3. 多少悪影響がある 4. ほとんど影響はない
5. むしろ好影響がある 6. わからない 7. その他

(単位：件・%)

	1	2	3	4	5	6	7
合計(構成比)	0.6	31.0	46.2	19.3	0.0	1.7	1.2
合計件数	1	53	79	33	0	3	2
製造	0	13	17	5	0	0	0
卸売	0	4	2	1	0	1	0
小売	0	18	23	13	0	0	1
サービス	0	4	15	9	0	1	1
建設	1	14	22	5	0	1	0

* 最近の原材料・仕入価格の上昇による収益への影響については、「危機的な悪影響がある」は0.6%、「かなり悪影響がある」は31.0%、「多少悪影響がある」は46.2%となり、合計で77.8%の企業が何らかの悪影響を受けている結果となった。対して、「ほとんど影響はない」は19.3%、「むしろ好影響がある」は0.0%となった。
業種別にみると、製造業が85.7%、建設業が86.1%と悪影響があるとの回答が多くみられた。

問2. 貴社の原材料・仕入価格は、1年前と比較してどの程度変化しましたか。下記の1~0の中から1つ選んでお答えください。

1. 0~3%程度の上昇 2. 3~5%程度の上昇 3. 5~10%程度の上昇 4. 10~15%程度の上昇 5. 15~20%程度の上昇
6. 20~25%程度の上昇 7. 25~30%程度の上昇 8. 30%以上の上昇 9. むしろ低下 0. わからない

(単位：件・%)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
合計(構成比)	12.9	16.4	24.6	13.4	9.4	2.9	1.7	1.2	0.6	16.9
合計件数	22	28	42	23	16	5	3	2	1	29
製造	5	8	7	4	3	3	0	2	0	3
卸売	1	0	2	1	3	0	0	0	0	1
小売	9	10	14	11	2	2	0	0	0	7
サービス	4	6	8	0	0	0	1	0	0	11
建設	3	4	11	7	8	0	2	0	1	7

* 原材料・仕入価格の1年前と比較した変化については、「5~10%程度の上昇」が24.6%と最も高く、次に「3~5%程度の上昇」16.4%、「10~15%程度の上昇」13.4%、「0~3%程度の上昇」12.9%と続き、仕入価格上昇は「10%以下」と回答した企業は、全体の53.9%となった。一方で、「10%以上」上昇した企業は28.6%となった。「わからない」と回答した企業は16.9%となっている。
業種別にみると、製造業、小売業、卸売業で価格が上昇したとの回答が多くみられた。特に、製造業では、水産加工業が多く、昨年発生した赤潮の影響か、漁業の不振が続いており、地場産の水揚げが少なく、価格上昇に影響していると考えられる。

問3. 貴社では、原材料・仕入価格の上昇のうち、どの程度を販売価格に転嫁できていますか。下記の1～9の中から1つ選んでお答えください。

1. 転嫁できている(仕入価格上昇の100%) 2. ほぼ転嫁できている(" 80~100%程度) 3. ある程度転嫁できている(" 50~80%程度) 4. 多少移転できている(" 20~50%程度) 5. ほとんど転嫁できていない(" 0~20%程度) 6. 全く転嫁できていない(" 0%) 7. 転嫁どころか販売価格は低下している 8. 仕入価格は上昇していないので転嫁の必要なし 9. わからない

(単位: 件・%)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
合計(構成比)	5.8	11.7	21.1	26.9	11.1	1.8	0.6	5.8	15.2
合計件数	10	20	36	46	19	3	1	10	26
製造	0	7	8	10	8	0	0	1	1
卸売	1	1	5	0	0	0	0	0	1
小売	5	11	9	12	4	1	1	3	9
サービス	2	0	4	10	3	1	0	5	5
建設	2	1	10	14	4	1	0	1	10

* 原材料・仕入価格の上昇のうち販売価格に転嫁できている割合については、「仕入価格上昇の100%」が5.8%、「仕入価格上昇の80~100%程度」が11.7%と、ほぼ転嫁できている企業がある一方で、「仕入価格上昇の0~20%程度」が11.1%、「仕入価格上昇の0%」が1.8%と、ほとんど転嫁できていない企業もある。また、「仕入価格は上昇していないので転嫁の必要なし」は5.8%となっている。

問4. 原材料・仕入については、価格の上昇のほか、調達遅延、数量確保困難などといった声も聞かれています。貴社では、各種資材や製商品の量や質は確保できていますか。確保できているという方は1を、問題を抱えている方は現在行っている対策を2~0の中から最大3つまで選んでお答えください。

1. 必要量・質が確保できている(値上げによる調達を含む)
 2. 代替商品の調達(同等品質) 3. 代替品の調達(品質の見直しなど) 4. 仕入れ先の変更・多角化 5. 受注(販売)数量の制限 6. 受注(販売)の停止 7. 販売先への納期の調整 8. 取扱商品の見直し(新商品など) 9. その他 0. 特に対応を行っていない

(単位: 件・%)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
合計(構成比)	35.7	6.4	5.3	6.4	3.5	2.9	9.4	6.4	0.0	41.5
合計件数	61	11	9	11	6	5	16	11	0	71
製造	14	0	0	2	1	2	2	3	0	14
卸売	4	2	2	1	0	0	1	0	0	2
小売	24	3	0	2	3	3	4	6	0	20
サービス	8	1	2	1	2	0	2	0	0	16
建設	11	5	5	5	0	0	7	2	0	19

* 調達遅延、数量確保困難などといった声も聞かれているなかでの、各種資材や製商品の量や質の確保状況については、「必要量・質が確保できている」が35.7%となった。確保ができていない企業が行っている対策については、「販売先への納期の調整」が9.4%と最も高く、次に「代替品の調達(同等品質)」「仕入れ先の変更・多角化」「取扱商品の見直し(新商品など)」が6.4%となっている。また、「特に対応を行っていない」企業は41.5%となった。

問5. 仕入れの困難化に伴い、仕入先を見直す動きも出ています。貴社では、仕入先の見直し等を検討するにあたって、重視する点はありますか。1~0の中から最大3つまで選んでお答えください。

1. 仕入価格 2. 商品の品質 3. 日頃からの付き合い・紹介 4. 安定供給力 5. 支払期日・支払方法 6. 配送・納期の融通
7. 注文単位 8. SDGs等、環境問題への取組み 9. その他 0. 仕入先の見直しは検討していない

(単位：件・%)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
合計(構成比)	35.7	24.6	15.2	12.9	1.8	5.8	5.3	1.8	0.0	52.0
合計件数	61	42	26	22	3	10	9	3	0	89
製造	12	10	4	5	0	1	1	1	0	17
卸売	2	4	1	1	0	0	1	1	0	4
小売	21	10	11	9	2	3	4	0	0	28
サービス	11	8	4	2	0	3	0	0	0	17
建設	15	10	6	5	1	3	3	1	0	23

* 仕入先の見直し等を検討するにあたって重視する点については、「仕入価格」が35.7%と最も高くなり、次に、「商品の品質」24.6%、「日頃からの付き合い・紹介」15.2%、「安定供給力」12.9%となっている。対して、「仕入先の見直しは検討していない」は52.0%となり、小規模企業ほど「仕入先の見直しは検討していない」との回答が多かった。

調査員のコメントから～

- 原材料高騰が要因で、収益悪化している。今後販売価格への転嫁を予定している。(製造業)
- まん延防止措置で来店客減少、仕入価格の上昇等、先の見通しが立たない。(製造業)
- 地元産生ダコの水揚げ減少、仕入価格も上昇しているが価格転嫁はできている。(製造業)
- 酒・食料品は、まん延防止措置で取引先の時短、休業が多く在庫過剰となっている。(卸売業)
- 赤潮の影響から、取扱高減少傾向。価格転嫁で例年並みの業況。(卸売業)
- 輸入品に遅延があり、販売価格も上昇。在庫不足が懸念される。(卸売業)
- 原材料の価格上昇。同価格の木材を仕入れても粗悪品が目立つようになった。(建設業)
- 工事受注は安定。降雪量多く除雪作業日数が増加した。(建設業)
- 人手不足が深刻、特に技術者が不足しており、従業員の技術力強化に取り組む。(建設業)
- 新しい加工設備の導入で、付加価値商品の販売に目途が付き売上増加を見込む。(小売業)
- まん延防止措置で町内飲食店の休業が増え売上は大幅に減少。(小売業)
- 前浜の鮮魚類の仕入れが厳しく、売れ筋の加工品の品不足が続いている。(小売業)
- クリーニング業での燃料高騰は、経営に大きな影響を及ぼしている。(サービス業)
- 介護業界全体で慢性的な人手不足状態。人材育成に力を入れていく方針。(サービス業)